

大分南部地域まちづくりビジョンフォローアップ会議通信 第1号

発行：令和元年11月15日 大分南部地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、大分南部地域まちづくりビジョンの事業の取り組み状況や課題をフォローアップ会議で整理した内容をお知らせして、今後のまちづくりの取り組みにつなげるためのものです。

『地域まちづくりビジョン』とは

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、昨年7月に市長に提言されました。

○本地域におけるまちの将来像・・・『自然豊かな温故知新を体感できるまち』

○将来像の実現に向けた提言

- ・住み続けたい、帰ってきたい地域づくり
- ・地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実
- ・災害に備えた取組の推進

○提言に基づく提案事業

三つの提言に基づき、行政と地域で役割分担しながら取り組んでいきたい事業を10項目の提案事業として掲げています。

『フォローアップ会議』とは

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、進捗状況を報告し、各取組の今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

【フォローアップ会議を開催しました】

日時：令和元年8月28日（水）19時～
場所：大分南部公民館 研修室



地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗状況

会議では、全事業の取り組み状況を報告し、これをもとに意見交換を行いました。本通信では、その内容についての報告を以下に掲載しました。

【 提言1：住み続けたいくなる、帰ってきたいくなる地域づくり 】

(事業名) ①子育てしやすい住環境の整備

地域内の道路が狭く、通学路を通り抜ける車も多いため危険です。また、地域に子どもが少なくなっており、地域活性化と住環境の改善が必要であることから、道路、駅、公園などの整備を行う。

【 事業の取り組み状況 】

(行政) 下郡公園の整備を進めている。 滝尾中部地区住環境整備事業で都市計画道路片島松岡線（辻堂から米良バイパス）の整備に努める。

(地域) ・PTA で道路灯やガードレールの設置が必要な危険箇所を学校に報告している。

【 会議で出された意見 】

- ・下郡公園の整備に伴う進捗状況が地域に伝わっていない。
- ・庄の原佐野線に関係する道路整備や下郡公園の整備は進んでいるが、他の事業が進まないのではないかと心配。

(事業名) ②JRの線路を利用して富山方式の路面電車を走らせる

大分駅から大分大学駅の間に、3～400m間隔で新駅を設置し、路面電車を走らせることで観光客を集めることができ、高齢者にも優しい公共交通となります。

【 事業の取り組み状況 】

(行政) 宗麟大橋が開通し、庄の原佐野線が下郡・中判田線（下郡バイパス）まで延伸することによる交通状況の変化を注視しながら交通事業者と継続的に協議していく。鉄道やバス、タクシーなどの事業者と連携し、利用者のニーズに合った効率的で効果的な公共交通ネットワークの構築に努める。

【 会議で出された意見 】

- ・豊肥線の駅を増やした方がよいと考えている。

(事業名) ③滝尾駅前の広い空地を活用

滝尾駅北西の空地を有効活用できるようにしてほしい。市からもJRに働きかけをしてほしい。

【 事業の取り組み状況 】

(行政) JRが民間に土地を売却しており、活用は困難。

(事業名) ④下郡駅の開設とその沿線に防災公園のある桜並木道の整備

歴史に裏打ちされた地域の観光資源を活かすため、人が集まりやすくなる新駅、沿線道路の整備を行う。宗麟大橋の開通により交通量が増加しているため、渋滞の緩和にもつながる整備を行う。

【 事業の取り組み状況 】

(行政) 下郡を含む滝尾地域では庄の原佐野線や片島松岡線（辻堂から米良バイパス）の道路整備を進めており、今後の道路ネットワークも大きく変化するものと考えられる。今後は、新駅の検討と道路整備の状況をあわせて検討していく。

(地域)

- ・下郡駅の新設について市長要望を出しており、実現に向け滝尾地区全体で期成会を立ち上げて、要望活動をしていく。

（事業名）⑤利便性に富んだ街づくり

曲などの地区内の狭い抜け道を通る車が多く危険なため、バイパス道路を整備する。

【 事業の取り組み状況 】

（行政） 現在、密集市街地や狹隘道路地区などで、安全・安心な市街地改善を図るため、住環境整備事業などを推進することとしている。今後は、宗麟大橋が開通し、庄の原佐野線が下郡・中判田線（下郡バイパス）まで延伸することによる交通状況の変化を注視しながら滝尾駅周辺のまちづくりに合わせて整備の必要性について検討する。

【会議で出された意見】

- ・滝尾地区において狹隘道路の整備については重要な問題と考えている。

【 提言 2：地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実 】

（事業名）⑥豊富な歴史を活かした旧跡めぐりサポーターの育成

南部地域の豊富な歴史資源を活用するため、百穴や曲石仏などの地域の歴史を伝える旧跡めぐり子どもサポーターを育成する。郷土愛の醸成につながり、歴史探索などで多世代が交流でき、子育てサークルなども楽しめる機会の創出につながる。

【 事業の取り組み状況 】

（行政・地域） 行政と地域が協力して行う地域まちづくり活性化事業において、旧跡めぐりサポーターの育成事業を、管内小学校（滝尾小、下郡小、森岡小）とボランティアの協力を得て実施し、継続的な人材育成を行っていく。

【会議で出された意見】

旧跡めぐりサポーターの募集について、地域に伝わっておらず広報が不足しているのではないかと。

（事業名）⑦子育てサロン・地域ふれあいサロンなど未来へつなぐコミュニティの充実・拡充

開催回数の増加や対象者、対象地域の拡大など、子育て世代もそれ以外の人もいきいきと交流しやすい環境の整備を行う。

【 事業の取り組み状況 】

（行政） 地域ふれあいサロンは、高齢者が集い交流し、仲間づくり、介護予防を目的として、地域のボランティアなどの協力を得ながら開催している。参加者の生きがいつくり、社会参加につながるような活動を行うとともに、これからサロン運営をしようとするボランティア等の人材育成も行っている。

子育てサロンなど、主に乳幼児とその保護者が気軽に集い、ともに遊び、学び、相談できる場を地域に設け、地域で子育て支援を行う団体に対する活動費の補助を行っており、滝尾・森岡・下郡で実施されている。また、子育てサロンの支援については、地域子育て支援室がふれあい遊びなどの親子活動の支援を、保育士が訪問している。

（地域） 各校区において、「滝尾校区ワクワク農業体験」「森岡そうめん流し」「竹灯籠鑑賞会」「下郡っ子いきいき倶楽部」「河川美化活動」などを行っている。

（事業名）⑧下郡に新たな公園整備

3校区の子どもが集まれるような公園を整備し、人が集い、子どもが安心して遊べる拠点とする。駐車場や駅に近接した公園を中心に、地域の活性化を図るとともに、防災公園として防災情報の発信等も行う。

【 事業の取り組み状況 】

(行政) 下郡公園については、平成30年度に、公園予定地を利用している地元関係者との意見交換等を通じ、基本設計を実施しており、令和2年以降に工事に着手する予定。また、防災公園の位置付けについては、地域防災計画との整合も必要なことから関係部局と連携する中で、防災機能についても検討を進める。

【 提言3：災害に備えた取組の推進 】

(事業名) ⑨児童と高齢者が安全に避難できる避難設備（インフラ）の整備

避難拠点となる避難所などへの周辺道路の幅員確保などの整備を行う。緊急車両が入れない道路の拡幅、排水路整備など安全安心に資する整備を行う。

【 事業の取り組み状況 】

(行政) 周辺道路の幅員確保などについては、道路用地の確保が可能な箇所に、車両のすれ違いのための待避所の設置を行っている。片島地区及び羽田地区の浸水対策として、片島雨水排水ポンプ場の整備を行っている。(令和4年供用開始を予定)

【会議で出された意見】

- ・滝尾地区における防災についての取組は、要支援者宅の把握や、要配慮者の把握等進んでいる。

(事業名) ⑩安心・安全な地域づくり

昨年の台風18号により地域内では床下浸水が発生したこともあり、防災に役立つ情報を地域の人たちで共有するとともに、防災人材の育成などにより、防災意識の向上に役立てる。

【 事業の取り組み状況 】

(行政) 全般的な災害情報は、大分市ホームページやSNS等で発信しており、地域への情報は、自治委員及び自主防災組織を通じて連絡する体制を構築するとともに、自主防災組織におけるリーダーとしての役割を担う人材として、防災士の養成を支援している。ハザードマップやわが家の防災マニュアルの各戸配布のほか、ハザードマップの防災情報をホームページの「おおいたマップ」に掲載するとともに、おおいた洪水ハザードアプリにより、市民の皆様との情報の共有化を図っている。

(地域) 防災に対する講演会や避難訓練を実施している。

～お知らせ～

□「ふれあい市長室」【大分南部地域】開催について

日時：令和2年1月23日(木) 19時00分から

場所：大分南部公民館 集会室

フォローアップ会議の内容を報告する「市民報告会」を兼ねた「ふれあい市長室」を開催し、地域住民からビジョンや市政全般に対する意見、提言を幅広く伺い、事業実施に向けた相互理解を深め、市民と行政の一体感を醸成します。

□「地域まちづくりビジョンシンポジウム」開催について

日時：令和元年11月23日(土) 13時30分から

場所：コンパルホール 3階 多目的ホール

地域まちづくりビジョンを広く市民と共有し、まちづくりの機運の醸成を図るため、子育て世代などの若い世代にも参加を呼び掛け、様々な世代が参加するシンポジウムを開催します。

【問い合わせ先】

大分市市民協働推進課 大分南部公民館

TEL 097-568-0055